

平成28年度

かごしま市予算のすがた



目次

- 28年度の鹿児島市当初予算額・・・P1
- 当初予算額の内訳・・・P2
- 一般会計当初予算額の内訳・・・P2
- 28年度の主な事業・・・P5

予算って何のこと？

皆さんのご家庭では、給与やアルバイトなどいくらもらえるか、また食費や教育費、電気代などがどれくらいかかるかなどを計算しながら、家計をやりくりしていることと思います。また、お子さんであれば、おこづかいやお年玉の使い方を、いろいろと考えるでしょう。

国や地方自治体も同じように、1年間の収入と支出を計算して、どのような仕事にいくらかお金を使うかを決めています。この入ってくるお金(歳入)と出ていくお金(歳出)の計画を『予算』といいます。

『予算』を見ると、鹿児島市の家計事情や仕事の中身が分かる仕組みになっています。市民の皆さんに鹿児島市の予算を知っていただくことは、市民の皆さんが主人公であるまちづくりの出発点です。



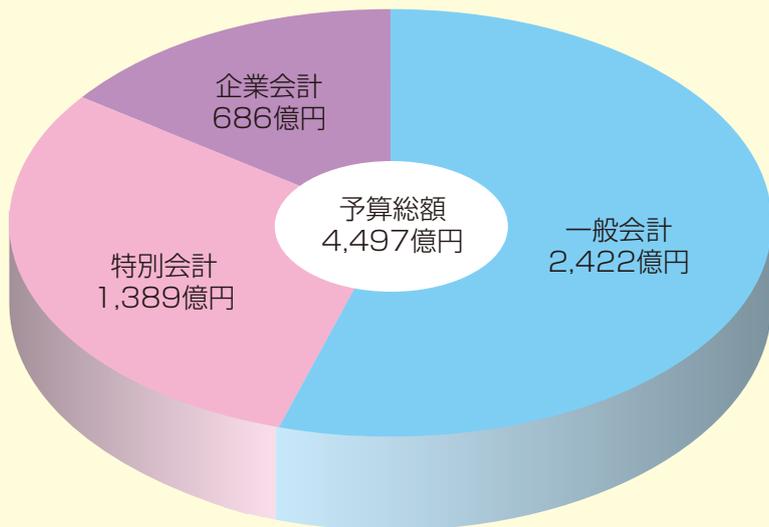
予算はどうやって決めるの？

福祉、教育、ごみ処理、道路整備など、市役所がやらなければならない仕事はたくさんありますが、皆さんによりよい生活を送っていただくために何をしたら良いか、市役所の各部署で検討し、市民の皆さんの意見や要望をできる限り反映させて予算の素案を作成します。市長は、その素案をもとに、使えるお金には限りがある中で総合的な判断を加えて予算案をまとめて市議会に提案します。

市民を代表する市議会は予算案をいろいろな面から審議したうえで、議会の議決により予算を決めます。

28年度の鹿児島市当初予算額

「一般会計」では2,422億円、「特別会計」「企業会計」を合わせると4,497億円になります。



会計とは？

特定の収入(国民健康保険税、介護保険料など)がある事業については、お金の出し入れを分かりやすくするために、お財布を分けて管理する必要があります。このお財布のことを「会計」といいます。大きく分けて3つの会計があります。

一般会計

市の会計の基本であり、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行う会計です。主な収入は、市税や国・県支出金などです。(2ページ参照)

特別会計

特定目的のための会計で、国民健康保険税や介護保険料など特定収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を管理します。鹿児島市には8の特別会計があります。

企業会計

地方公営企業(市立病院、交通局、水道局、船舶局)の会計。鹿児島市には6の企業会計があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

鹿児島市の特別会計

土地区画整理事業清算	国民健康保険事業
中央卸売市場	介護保険
地域下水道事業	後期高齢者医療
桜島観光施設	母子父子寡婦福祉資金貸付事業

鹿児島市の企業会計

病院事業	工業用水道事業
交通事業	公共下水道事業
水道事業	船舶事業

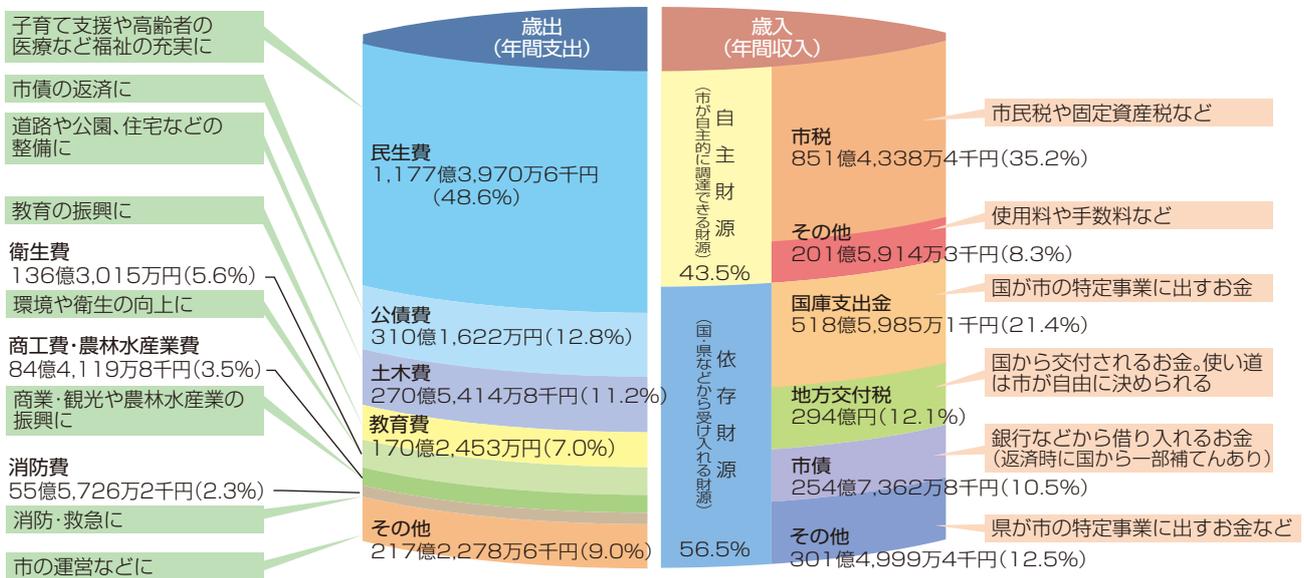
当初予算額の内訳

当初予算総額4,497億円

会計名	予算額	前年度との比較
一般会計	2,421億8,600万円	0.1%増
特別会計	1,388億7,000万円	4.1%増
土地区画整理事業清算特別会計	2万円	54.3%減
中央卸売市場特別会計	40億9,788万円	53.5%増
地域下水道事業特別会計	6,380万円	2.2%増
桜島観光施設特別会計	1億1,360万円	7.1%減
国民健康保険事業特別会計	811億2,090万円	4.2%増
介護保険特別会計	462億5,790万円	1.5%増
後期高齢者医療特別会計	70億3,700万円	2.4%増
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	1億7,890万円	2.9%減
企業会計	686億2,700万円	4.9%増
病院事業特別会計	215億9,100万円	1.1%減
交通事業特別会計	127億2,000万円	97.9%増
水道事業特別会計	184億5,400万円	2.6%減
工業用水道事業特別会計	750万円	7.4%減
公共下水道事業特別会計	128億6,550万円	5.4%減
船舶事業特別会計	29億8,900万円	34.8%減
合計	4,496億8,300万円	2.0%増

一般会計当初予算額の内訳

一般会計当初予算額2,422億円



歳出のポイント

歳出で最も多いのは、子育て支援や生活保護費などに使われる民生費の約1,177億円で、一般会計当初予算全体に占める割合は約49%、次に多いのは、市債の返済などに使われる公債費の約310億円で、約13%となっています。

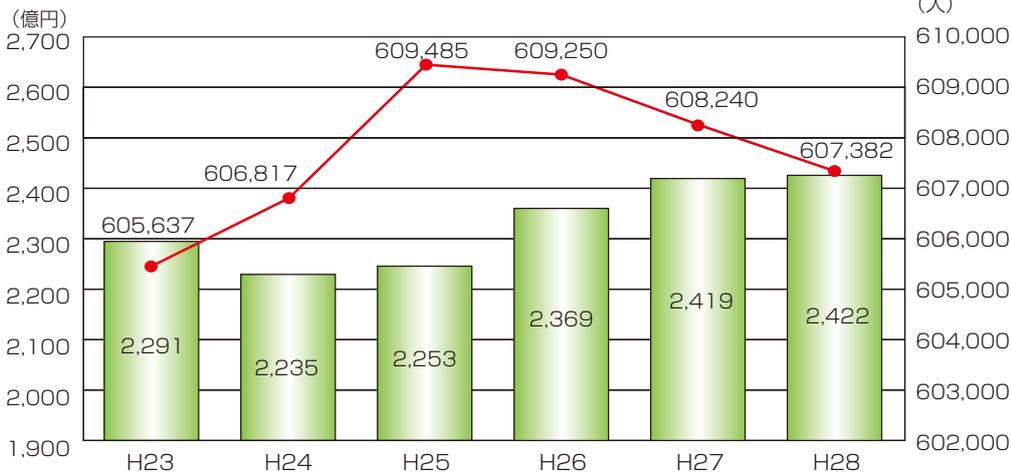
社会保障関係経費などに引き続き多額の費用が見込まれ、財政状況は厳しさを増していますが、「人・まち・みどり みんなで創る「豊かさ」実感都市・かごしま」の実現に向けて、『地方創生本格始動！市民が生き生きと輝きながらチャレンジできる予算』となっています。

歳入のポイント

歳入は、地方交付税や国庫支出金は減額になりましたが、市税が固定資産税の増などにより約15億円の増額になりました。



①一般会計当初予算額と人口の推移



財源の確保に努め、健全財政を維持しながら「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」の実現に向けて、『地方創生本格始動！市民が生き生きと輝きながらチャレンジできる予算』としました。



②市民1人当たりの予算の使い道は？

一般会計当初予算額2,422億円の使い道を市民1人当たりに換算してみました。

市民1人当たりの予算約40万円の使い道

※人口607,382人で計算(28年1月1日現在)

○子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に約19万4千円



○市債の返済に約5万1千円



○市の運営などに約3万6千円



○環境や衛生の向上に約2万3千円



○商業・観光・農林水産業の振興に約1万4千円



○消防・救急に約9千円



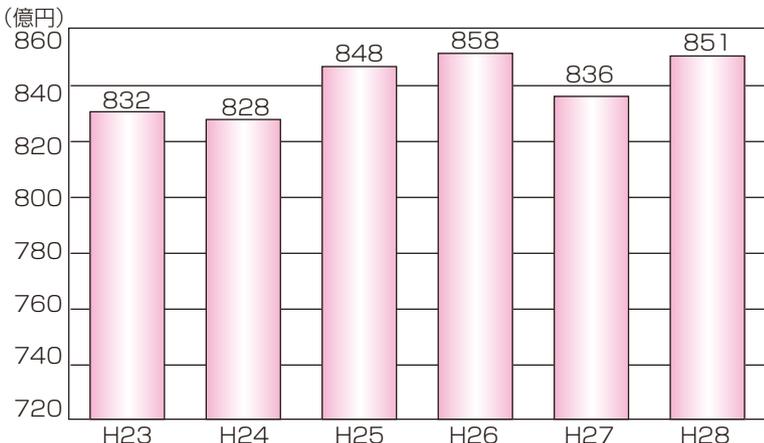
○道路や公園、住宅などの整備に約4万5千円



○教育の振興に約2万8千円



③市税の推移



※26年度までは決算額、27及び28年度は当初予算額

市民1人当たり約14万円です

市税には主に市民税や固定資産税、都市計画税などがあります。皆さんに納めていただいた市税は歳入の約35%を占めており、鹿児島市のまちづくりを行うための最も重要な財源となっています。市税は必要な行政サービスに大切に使われています。



④市債残高の推移

市民1人当たり
約31万円です



- (1) グラフの右部分は実質的な地方交付税である臨時財政対策債です。
- (2) 左部分は、臨時財政対策債を除いた残高です。
- (3) 25年度までは同意ベースの決算額、26年度は決算見込額、27及び28年度は当初予算時の見込額です。

本来は交付税として国からもらえるお金を国の財政上の都合で市が借り入れているものです。返済は全て国の負担です。

どうして借金しなければならないの？

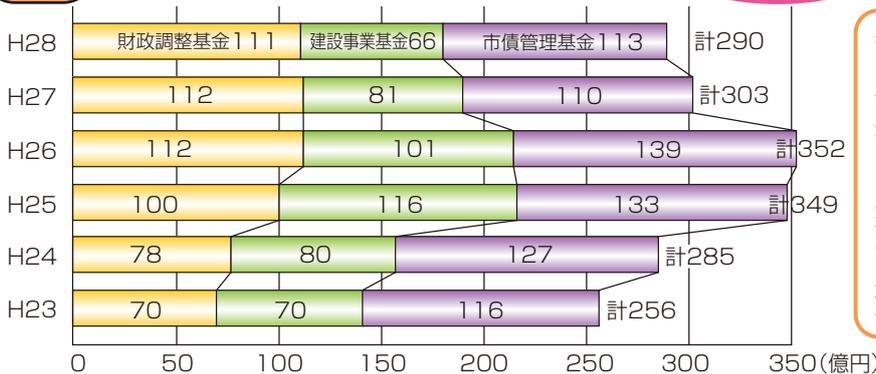
市債は借金ですから、無いに越したことはありません。でも、公園や道路、学校など公共施設の整備に必要なお金を1年間の予算でまかなくなってしまったら、その年は他の仕事が出来なくなってしまいます。

公共施設はこれから長い間、たくさんの方が利用する訳ですから、将来の市民の皆さんにも公平に費用を負担していただくために、市債を発行しています。ただし、借入が多くなればなるほど返済が大変になりますから、鹿児島市は計画的な市債の発行に努めています。また、返済する時に国から交付税が配分される市債の借入を優先するなど、本市の負担を減らすことができよう努めています。



⑤基金残高の推移

貯金は大事に
使わないと...



- (1) グラフの左部分は財政調整基金、中央部分は建設事業基金、右部分は市債管理基金の残高です。
- (2) 26年度までは決算額、27及び28年度は当初予算時の見込額です。

基金って何だろう？

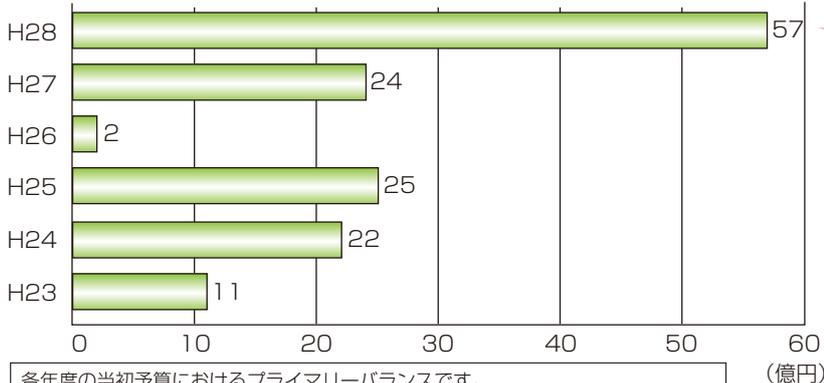
鹿児島市には、土地や建物、物品や債券などさまざまな財産のほかに、一般家庭の貯金に相当するさまざまな「基金」があります。

市の貯金である基金のうち、財政調整基金、建設事業基金、市債管理基金の3基金については、必要に応じて積立てや取崩しを行いながら、健全な財政運営の維持に努めています。



⑥プライマリーバランス(基礎的財政収支)の推移

28年度は約57億円の黒字です



- 各年度の当初予算におけるプライマリーバランスです。(実質的な地方交付税である臨時財政対策債は、借金・返済から除いています。)

プライマリーバランスって何だろう？

借金(市債)を除いた歳入と返済(元金)を除いた歳出を比較したもので、歳入のほうが多ければ黒字となり、財政が健全であることを示します。

借金の累積を防ぐためには、このプライマリーバランスの黒字が必要で、鹿児島市は厳しい財政状況の中、黒字を維持し続けています。

28年度の主な事業

地方創生本格始動！ 市民が生き生きと輝きながらチャレンジできる予算

鹿児島市の「未来形」～4つの視点で描く～

1 魅力

ワンランク上の「魅力」の創出

まちの魅力を「みがく」 41億円

◎域外の消費需要を呼び込む交流人口の拡大

2 ライフプラン

希望に満ちた「ライフプラン」を応援

結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」 105億円

◎安心して結婚・出産・子育てができる環境整備

3 経済

活力ある「経済」の振興

しごとで活力を「つくる」 10億円

◎魅力的で安定した雇用の場の確保
◎潜在的な労働力の雇用機会の拡大

4 勢い

まちの「勢い」の持続

ひと・まちを多彩に「つなぐ」 22億円

◎持続性と発展性を備えたまちの継承

都市像の実現

人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま

1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

4 地域産業が元気で生き生きと働けるまち

5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

■まちの魅力を高める

- 世界遺産推進事業(922万1千円)
- 桜島・錦江湾ジオパーク推進事業(3,404万7千円)
- 五代友厚誕生地整備事業(3,803万3千円)
- 首都圏における“食の都かごしま”プロモーション事業(627万2千円)

■市民・観光客みんなが楽しめるイベントの開催

- 天文館ミリオネーション(8,850万円)



- 薩摩維新ふるさと博(800万円)
- 鹿児島マラソン(1億円)

■かごしまの魅力を国内外へ伝える

- 東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致事業(44万9千円)

■国内外との交流

- 多彩な都市交流事業(300万円)
- 観光農業公園交流体験事業(5,026万4千円)



2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

■生命・財産を守る防災力の充実

- 桜島大規模噴火対策事業(2,793万9千円)

■医療の充実と市民の健康づくり

- 消防車両等高性能化事業(8,545万9千円)

■子育てをするなら鹿児島市

- 出会い・ふれあい企業対抗運動会開催事業(660万1千円)
- 子ども医療費助成事業(13億8,841万3千円)
- 妊娠・出産包括支援事業(2,197万5千円)



鹿児島市地方気象台提供



■高齢者が生き生きと元気に暮らせるまちづくり

- 高齢者グラウンド・ゴルフ場整備事業(930万1千円)

■障害のある方へのきめ細かな福祉の充実

- 障害者差別解消推進事業(438万円)

■安全・安心を実感できるまちづくり

- セーフコミュニティ推進・対策事業(607万9千円)
- 生活困窮世帯・ひとり親家庭等の子どもへの学習支援事業(442万9千円)



3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

■再生可能エネルギーの利用促進

- ゼロエネルギー住宅整備促進事業補助金 (8,403万円)
- 木質バイオマス熱のモデル的導入事業(178万4千円)

■ごみの減量化・再利用と環境にやさしいまちづくり

- コミュニティサイクル運営事業 (2,220万円)
- かごしま環境未来館管理運営事業 (1億8,010万1千円)



ゼロエネルギー住宅のイメージ

■まちの緑を増やし、うるおいあるまちづくり

- 市立病院跡地緑地整備事業 (549万円)
- 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備(上町の杜公園)事業 (9,140万円)
- 武岡公園整備事業 (1,700万円)



かんまちあ(上町の杜公園・鹿児島市上町ふれあい広場) イメージ図

4 地域産業が元気で生き生きと働けるまち

■雇用の場を増やし、生き生きと働けるまちづくり

- 中小企業UIJターン人材確保支援事業(251万3千円)
- ワーク・ライフ・バランスを目指す事業所応援事業(28万5千円)

■中心市街地の活性化

- 千日町1・4番街区市街地再開発事業(1億9,627万5千円)



■地元企業・商店街を元気にし、新たな産業を創る

- 中小企業資金融資事業 (3億5,069万9千円)
- 頑張る商店街支援事業 (3,983万3千円)

■豊かな自然を生かした活力のある農林水産業

- 森林資源整備事業 (7,551万9千円)



5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

■生きる力を育む教育

- 大学在学時奨学金返還支援基金出捐金 (3,500万円)

■いじめから子どもたちを守る

- 臨床心理相談員活用事業 (1,595万1千円)

■学びを支援する教育環境の充実

- 校舎・屋体等整備事業 (16億5,657万2千円) [一部@2月補正]
- 小中学校適正規模検討経費 (28万5千円)



■ずっと学び、ずっとスポーツをすることを応援

- 夢広がるスポーツフェアドリーム・ベースボール (114万7千円)
- パークゴルフ場整備可能性調査事業 (500万円)

■人と地域を元気にする市民文化の創造

- ふるさと考古歴史館リニューアル事業 (1億5,936万2千円)

■一人ひとりの人権の尊重と男女共同参画社会の推進

- 男女共同参画計画推進事業 (138万7千円)



ふるさと考古歴史館リニューアル

6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

■魅力ある都市空間づくり

- 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業(9億9,539万円)
- 谷山地区連続立体交差事業 (18億5,712万2千円)
- 中央町19・20番街区市街地再開発事業 (3億2,870万6千円)



現在の鹿児島駅周辺の様子

■良質で快適な生活環境づくり

- 安全安心住宅ストック支援事業 (1億649万6千円)

■市民生活を支える交通環境の充実

- 公共交通不便地対策事業 (1億5,200万9千円)



7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

■自主的・自立的な行政運営

- 連携中枢都市圏形成事業(957万円)

■健全な財政運営

- 「愛して！！かごしま」ふるさと寄附金サポート事業(5,562万1千円)
- 地方創生推進事業(112万5千円)

■便利で親切な市役所

- 期日前投票所の増設(69万4千円)



ふるさと納税お礼品のイメージ

■市民の皆さまと一緒に活力ある地域づくり

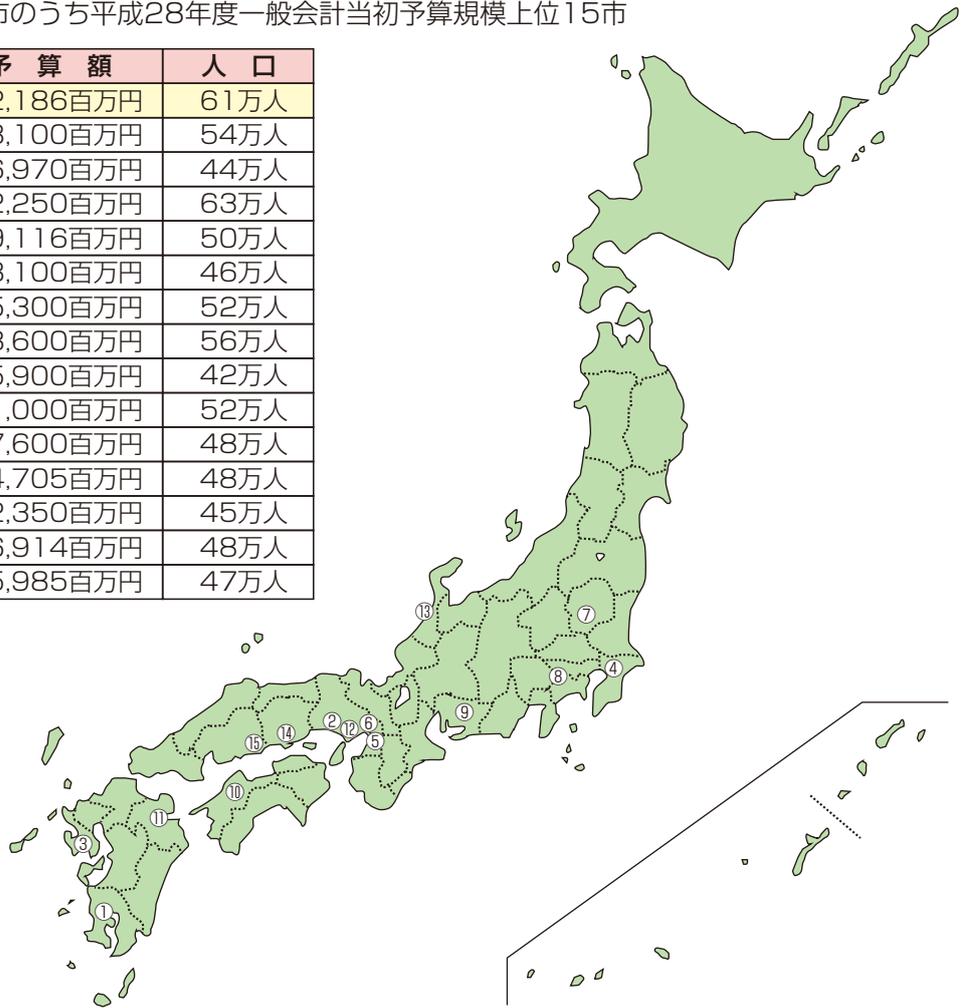
- コミュニティビジョン推進事業 (1億1,678万5千円)
- 町内会パワーアップ事業 (94万9千円)
- 移住促進事業(343万2千円)



⑦鹿児島市の予算を他の中核市と比べると

中核市47市のうち平成28年度一般会計当初予算規模上位15市

	都市名	予算額	人口
①	鹿児島市	242,186百万円	61万人
②	姫路市	218,100百万円	54万人
③	長崎市	216,970百万円	44万人
④	船橋市	212,250百万円	63万人
⑤	東大阪市	209,116百万円	50万人
⑥	尼崎市	208,100百万円	46万人
⑦	宇都宮市	205,300百万円	52万人
⑧	八王子市	198,600百万円	56万人
⑨	豊田市	185,900百万円	42万人
⑩	松山市	181,000百万円	52万人
⑪	大分市	177,600百万円	48万人
⑫	西宮市	174,705百万円	48万人
⑬	金沢市	172,350百万円	45万人
⑭	倉敷市	166,914百万円	48万人
⑮	福山市	165,985百万円	47万人



～『かごしま市予算のすがた』の作成に当たって～

「予算」という言葉は知っているけど、その内容については、専門的で分かりにくいという印象を持たれている市民の皆さんも多いのではないのでしょうか。

「市民との協働のまちづくり」を進めていくためには、市民の皆さんの生活に深く関わっている鹿児島市の予算を知っていただくことが大切です。

地方財政を取り巻く環境がますます厳しさを増す中で、「予算」のことを少しでも身近に感じていただくため、分かりやすい表現を心がけた「かごしま市予算のすがた」を作成しました。

この冊子によって、市民の皆さんが鹿児島市の予算に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

★鹿児島市の予算や財政に関する情報は市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/> 【トップページ】⇒【市政情報】⇒【財政状況】からアクセスしてください。

平成28年度 かごしま市予算のすがた
編集・発行／鹿児島市財政課
〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 電話099-216-1155